

R 5 縄文の住

5年生 総合的な学習の時間
縄文学習の実践

1 学期：5 月下旬 ①（2 時間）〔教室〕

○オリエンテーション

〈縄文時代の疑問づくり〉

コミュニケーション？なぜ土偶？字は存在したか？1 日何食？歯磨きは？
野菜は取っていたか？競技は存在したか？是川に村はあったか？
道具の種類？土器の種類？土器はなんのために？どんな暮らし？
どんな言葉？衣服は？どんな食べ物？時間はあったか？家の仕組み？
住む場所は？お風呂は？どんな動物や生き物がいたのか？
冷蔵庫や電子レンジ、ベッドの代わりはあったのか？

1学期：5月下旬 ①（2時間）〔教室〕

○オリエンテーション

〈縄文時代の疑問解決〉

- ①クロームブックで調べる
- ②資料、本などで調べる

※わからないことはのちに縄文館に行ったときに聞けるように
質問事項を準備しておいた。

1 学期：6 月上旬 ②（1 時間）〔教室〕

○調べたことを発表

各自で調べたことを発表し合い、共通理解をした。

1 学期：6 月上旬 ③（2 時間）〔教室〕

○住についての的を絞り、
住について詳しく調べる

- ・ 竪穴式住居の構造を知る。（柱、梁、炉、穴の深さ、材料）
- ・ 間取りを知る。（寢床、炉の意味、家の中で何をしていた？）
- ・ 家族構成を知る。（広さ）

1 学期：6 月 1 3 日（火）④（2 時間） 〔校庭〕

○実際に穴を掘り出す。

竪穴式住居設計図を作成し始める。

・最初は文明器具を使わず縄文時代のやり方で、素手、木や石だけで掘り始める（2時間）。しかし、雑草の生え具合に追いつかれ、先が見えなく後に現代の文明器具（スコップなど）を使う。

1学期：6月27日（火）⑤（4時間）

〔松ヶ崎遺跡〕

○松ヶ崎遺跡見学（縄文館小久保さん対応）

- ・ 1時間目～4時間目にかけて松ヶ崎遺跡の見学に徒歩40分で行く。
- ・ 竪穴式住居制作の確認ができた。（深さ、広さ、柱の数）
- ・ 集落で移動していること、ゴミ捨て場や墓があることが分かった。
- ・ 疑問解決できないことをたくさん質問した。

1学期：6月27日（火）⑤（4時間） 〔松ヶ崎遺跡〕

○松ヶ崎遺跡見学（縄文館小久保さん対応）



1学期：6月27日（火）⑤（4時間） 〔松ヶ崎遺跡〕

○松ヶ崎遺跡見学（縄文館小久保さん対応）



1 学期：6 月 27 日（火）⑥（1 時間）
〔教室〕

○松ヶ崎遺跡見学（質問事項まとめ）
準備していたワークシートに質問したことをまとめる。

1学期：7月17日（火）～再開

⑦（2時間）〔校庭〕

○竪穴式住居設計図組と竪穴式住居制作組に分かれて活動する。

・宿泊学習や田植えでなかなか手がつけられなかったが再開する。文明の力を使ってなんとか穴掘りを進める。



1学期：7月中旬 ⑧（2時間）〔校庭〕

○竪穴式住居設計図組と竪穴式住居制作組
に別れて活動する。

- ・ある程度穴を掘ったら（30cm）、柱用に穴を4箇所掘る（50cm）。そこに柱（丸太）を立てて梁となる横棒（竹）を取り付ける。



1学期：7月中旬 ⑩（1時間）〔校庭〕

○竪穴式住居制作。

梁となる横棒（竹）にさらに斜めに竹を立てかけて足元を固めながら、横棒と斜め棒を紐で結ぶ。



1学期：7月下旬 ⑪（1時間）〔校庭〕

○竪穴式住居制作。

入口となる門のように柱を
2本立てる。



2学期：8月中旬 ⑫（3時間）〔校庭〕

○竪穴式住居制作。

斜めの竹に壁となる横棒（竹）を麻紐で結ぶ。

同時に炉となる穴を掘り、石を並べる

天井部分制作組で天井を検討する。



2学期：9月上旬 ⑬（4時間）〔校庭〕

○竪穴式住居制作。

壁となる横棒を増量し、強度を保つ。

天井は竹を半分にしたものでしならせ、ドーム状に形成し紐で固める。



2学期：9月中旬 ⑭（4時間）〔校庭〕

○竪穴式住居制作。

藁で壁面を製作。下部から順に紐で結んでいく。①藁を束ねる班②藁を取り付け班③天井班に別れて進めた。

同時に天井にも藁を取り付ける。

藁は農家さんより頂き、菅原さんが運んでくれた。



2学期：9月下旬 ⑮（6時間）〔校庭〕

○竪穴式住居制作。



1 学期：1 0 月 1 9 日 ⑩（1 時間）〔校庭〕

○豎穴式住居完成



2学期：10月19日 ⑩（1時間）〔校庭〕

○竪穴式住居完成



藁は雨など水分で重くなり、崩れる心配があったので竹で中柱で天井を支えています。5年生18名全員が入っても余裕のある広さでした。

2学期：10月下旬 ⑰（4時間）〔教室〕

○縄文まとめ①

今までの調べた縄文のことと、自分たちが製作した竪穴式住居を絡めた内容をgoogleのスライドを使ってプレゼンテーションができるように練習し始めた。

2学期：11月 ⑱（2時間）〔教室〕

○縄文まとめ①

互いのプレゼンを見せ合い、見やすさや、分かりやすさ、アニメーションの動かし方にさらに工夫を重ねた。

3 学期：1 月～ ⑱（2 時間）〔教室〕

○縄文まとめ②

班員 3 名でプレゼンを目指す。CANVAでプレゼン作成。3 名のうち発表者、クロームブック操作や人員交代のタイミングを打ち合わせも行った。

3学期：2月～ ⑱（2時間）〔教室〕

○縄文まとめ②

2月27日（火）の参観日発表に向けて本格的に練習を行った。
学級でリハーサルの時間も設けて各班で反省や改善をした。

もう一度この学年をやるならコーナー

- ・ 竪穴式住居製作には竹は向いていないため、木を推奨します。

理由：藁、竹は水を含み重さに耐えられないため。竹はしなりがある分余計に重さに耐えきれない。

- ・ 藁よりも茅葺きの方が油分が多いため雨雪に強いようです。いずれにせよ手に入れるのが大変なので、早め早めに話を上司と進めたほうがよい。
- ・ 麻紐、竹、藁を大量に使った。
- ・ 土が硬いため子供だけで掘るのは大変である。地中には大きなコンクリートブロックなどがたくさん埋まっていた。（全44時間位使用・・・今後片付け）

1 学期：6 月初め頃（時間）

〔教室及び校庭〕

○**主な内容を端的に**（） ← 段階の中でのページ数

・活動内容、進め方、おらい、留意事項、必要なもの、下準備、縄文館とのやり取りなど、簡単に記入

作成後、このページは最後に移動させてください。

写真・資料など
（複数枚であれば、次ページ
に写真などを載せる）